

土砂災害対策

土砂災害とは？

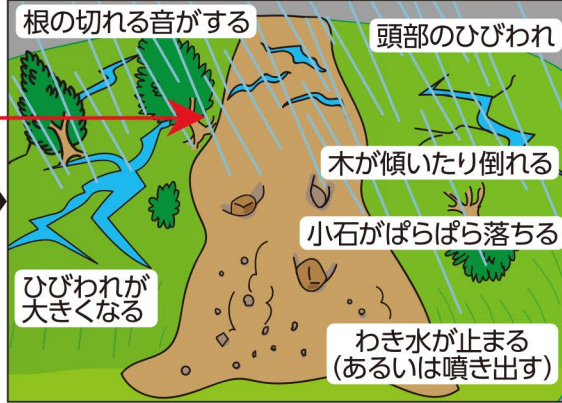
土砂災害は、台風、大雨、地震などにより発生しやすくなります。斜面の地表に近い部分が雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる「**崖崩れ**」、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって一気に下流へと押し流される「**土石流**」、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する「**地滑り**」があります。また、土砂災害が発生する前には、さまざまな前兆現象が起こることがあります。

土砂災害の前兆・種類

※下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起こるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

崖崩れ

地中に浸みこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。崖崩れは突然起こるため、人家の近くで起こると逃げ遅れる人も多く、被害が発生する割合も高くなっています。



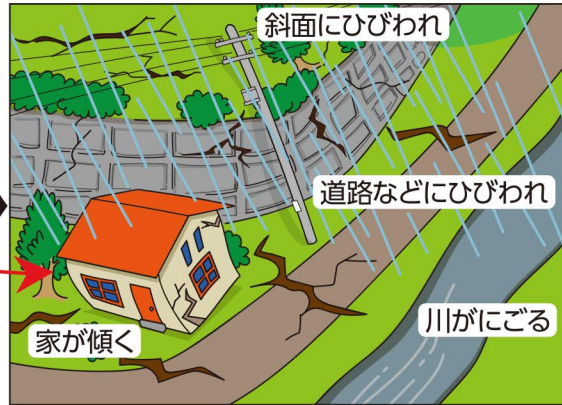
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地滑り

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいので、甚大な被害をおよぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



土砂災害危険箇所について

土砂災害防止法に基づき埼玉県が計画的に基礎調査を実施して、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定および見直しを行っています。

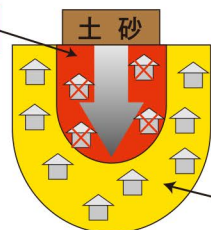
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命または身体に著しい危険が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

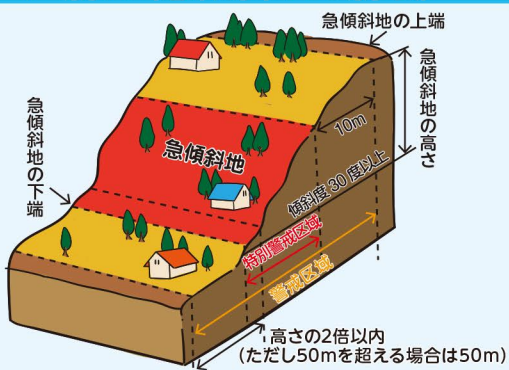
土砂災害による被害のおそれがある区域

レッドゾーン

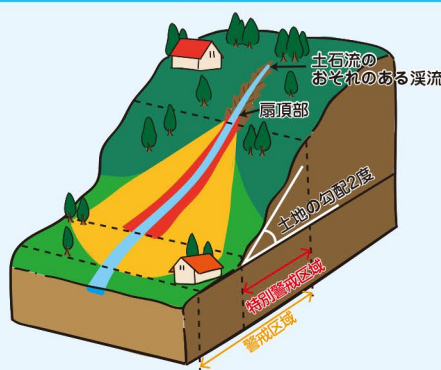


イエローゾーン

崖崩れ (急傾斜地の崩壊)



土石流



地滑り

